

論点提起



高山れい子

日本健康づくり推進協議会 総括

子育て&キャリアアップ開発LAB 推進責任者

自己紹介：経歴と生き方



高山れい子

日本健康づくり推進協議会 総括

子育て&キャリアアップ開発LAB 推進責任者

22歳で学業を終えてから、81歳の今日まで、一貫して休まず仕事を続けてきました。

幸いにして、仕事を断念するような大きな挫折もなく、本人の意思によって仕事を続けるものだと言う信念があったからです。

仕事の成果は、運と環境によると思い、子育ての両立が大変な30代も切り抜けてきました。

しかし、現在はパートナーはもちろん地域全体での共同体制が欠かせない時代へ突入しており、社会全体で取り組むべきだと、子育て&キャリアアップ開発ラボを開設し、両立の問題に取り組んでいます。

論点提起

テーマ：仕事と子育ての両立は、社会全体の課題
～子育てにおける地域との連帯の必要性～

- 少子高齢化が着実に進んでいる現状
- 子育てと仕事の両立が大半を占める
- 両立の大変さに、どう向き合うか
- 地域の支援など、手厚い連帯をどう築くか

内 容

- 子育て中の現状
- 子育てと仕事の両立をしている割合
- 社会環境の変化と、及ぼす影響
- 子育て環境
- 働き方環境
- 地域との情報共有環境
- 医療体制や保育体制
- 育児手帳の有効活用、ネットワーク
- 子育て体制の連携ネットワーク化
- 3世代同居に変わる体制づくりは何か
- 専門学校や大学等の若い世代に子育て環境の情報共有
- デジタルが社会のメリットとデメリット
- コロナ禍による打撃について

参考：健脳カフェ 2021年4月2日 OPEN

- 四谷三丁目の左門町交差点の近く、アルツクリニックPETラボ(アルツクリニック東京)1階に「健脳カフェ」がオープン。
- 認知症予防を目指した新しいタイプの予防カフェ(先制医療的拠点)で、我が国で普及している「認知症カフェ」とは趣旨がまったく異なり、日本ではじめての試み。認知症になる前のSCD(主観的認知機能低下)・MCI(軽度認知障害)の方を対象とし、認知症の専門医が常駐し、カフェ内でのプログラムや談話に参加することで未病の段階から予防の個別プログラム支援。
- カフェ内で展開されるプログラムやサービスなどは、「アルツクリニック東京」だけではなく、生涯健康社会推進機構、40代からの認知症リスク低減機構、日本音楽健康協会などの認知症予防に取り組む団体・企業からも提供いただき、来場者が認知症予防・リスク低減のために役立つ情報や実践を産学連携でサポートしていく場としていきます。

出典：最新医療の裏付けを持った認知症予防・未病のための拠点 アルツクリニック東京監修「健脳カフェ」が東京・四谷に誕生

PR TIMES <https://tinyurl.com/ygo9dwvl>

認知症「未病」段階で予防 ～拠点の「健脳カフェ」が誕生～ 時事メディカル <https://tinyurl.com/yzpr7sw9>

参考：子育てしやすい国ランキング

- 旅行・家族ジャーナリズムを専門とするアメリカの企業Asher & LyricがOECD35カ国を対象にした「子育てしやすい国ランキング2020 (The Best Countries For Raising A Family In 2020)」を発表
 - ランキングは30種の国際データをもとに、安全性、幸福度、コスト、健康、教育、子どもと過ごす時間の6つのカテゴリーにより、OECD加盟国35カ国の子育て環境を評価し、合計ポイントにより総合ランキングを出している。

■ ランキング

1. アイスランド	2. ノルウェー	3. スウェーデン	...
25. 日本	26. イスラエル	27. スロバキア共和国	...
33. チリ	34. アメリカ	35. メキシコ	

[補] OECD 2019年9月10日 発表

2016年の初等教育から高等教育の公的支出が国内総生産（GDP）に占める割合は、日本が2.9%と、35か国中最下位

出典：最新「子育てしやすい国ランキング」日本は何位？ <https://tinyurl.com/ydpd3evf>
教育への公的支出、日本は35か国中最下位…OECD調査 ReseMom <https://tinyurl.com/yz6fqgfz>

参考：地方創生 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■ 地方創生 【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3－1 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

(1) 結婚・出産・子育ての支援

(2) 仕事と子育ての両立

(3) 地域の実情に応じた取組（地域アプローチ等）の推進

出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、内閣府地方創生推進事務局 <https://tinyurl.com/yjnfcvxe>

【補】

■ 働く個人は、時間や場所を選ばない働き方・テレワーク継続を求める。

出典：コロナ禍2年目 東京在住者 地方・郊外移住、46.6%が興味あり 障壁は『仕事面の不安』が最多 テレワークの継続実施に関心 (株)リクルート <https://tinyurl.com/ydp4qhch>

■ 意識改革が肝要

総 括

■ 振り返りと覚悟

- 22歳から81歳の今日まで仕事を継続してきた歴史を振り返ると、なんといっても子育てをしながら、キャリアを磨く30代の頃が最もハードでかつ戦いの場であったことが鮮明に浮かびます。
- 何もかも孤軍奮闘で立ち向かうために、十分な充実感を押しながら乗り越えたかと言うと、自信がありません。
- 次世代に対して、蓄積の中から得たやり方や知恵に、更には多数の人々のアドバイスを盛り込んで、伝承していきたい気持ちに駆られています。
- 時代の流れとともに、パートナーの協力や専門機関等のベテランからの支援も、得ながら、大きくは少子化問題でもある子育てと働き方の両立に、生涯可能な限り取り組む覚悟です。

■ Japaへの期待と連携

- . . .